

令和5年度 稲沢市地域自立支援協議会 第2回就労支援部会 議事要旨

【日 時】令和5年7月18日(火) 午後2時～午後3時30分

【場 所】稲沢市役所 第1分庁舎 2階 第3会議室

【出席者】就労支援部会委員6人 事務局5人

【欠席者】なし

あいさつ(部会長)

【議 事】

1 報告事項

(1) 就労支援事業所連絡会報告

事務局から報告(質疑なし)

2 協議事項

(1) 今年度の取り組み(案)について

事務局から素案を説明

部会長 活動(案)として5つあり、見学会をやるにはチラシを作成して周知していく必要がある。実施するかどうか最低限決めていかないといけない。

委員A オンライン学習会について、3つの内容でどれくらいの時間を想定しているか。

事務局 長すぎても参加することは難しいのでは。前回のオンライン学習会が1コマ15分程度。北津島病院のかたに来ていただくのであればある程度時間を取らないといけないのでは、と考えている。現時点で全く確定していない。

委員A 助成金のことを全く知らない企業もいるとのことだったので、ハローワークからのお話の中に入れていただくとよい。来年度は制度が変わり雇用率も上がるので、企業のかたの気持ちをキャッチしていただきたい。精神疾患について学ぶというのは、ハローワークでトータルサポーターが精神疾患の説明を企業向けにしているが、そのような内容か、それとも、しっかり疾患について、という感じか。

事務局 前回会議で精神障害者の就労継続といった課題があったので、精神疾患を学べる場にして企業の方々に病気の理解を深めていただくこともひとつ。具体的な部分はまだ決まっていない。北津島病院だと協議会として繋がりがあがる。

委員A トータルサポーターが話す内容であれば企業のかたも取り入れやすい。Zoomの学習会とその後の見学会に両方参加したら特典があったらいい。もにす認定についても広めていただけたらと思う。

委員C 企業にどこまで法定雇用率とか、ペナルティ、もしくは特典を周知できているか。以前、人材不足が追い風になる可能性があると話したが、外国人や障害者についての雇用はまだまだだと思っている。義務であることをもっと周知すると良いのでは。例えば、商工会議所の会報誌に毎月、障害者雇用に関する情報を掲載する。事業実施以前の働きかけを1年通してやっていくことの必要性を感じているととも

に、そういったことであれば協力できる。

部会長 その枠を就労支援部会として空けてもらえるということか。

委員 C そのとおり。企業の有料のもの、市役所の無料のものがある。記事のワンスペースを毎月同じ内容で載せ続けてはどうか。

部会長 就労支援部会として枠が取れるということであれば、委員からアピールしたいことでも良いか。

委員 C 公的な情報発信であれば無料で良い。

部会長 中身を考えるのが大変だと思う。

委員 C ひたすら法定雇用率について記載してもよいのでは。守らないとこのようなペナルティがあるということはあるか。

委員 B 100人以上の企業だが、不足数が1人につき1か月5万円納付金を払うというものがある。

委員 C 企業が注目するのはハローワークからの注意喚起。早急な対応を、といったメッセージが毎月出ていれば企業としてはまずいとなる。

悪いほうではなく、逆に助成金が受けられるなどプラスの発信も良い。会報誌にすべての情報を掲載しなくともHPをご覧くださいということで繋いでもいい。

部会長 情報発信して周知していくことは良いので進めたい。

委員 D 納付金は1か月5万円だが、障害者のかたを採用し月々給料を払うと5万以上になる。以前、新規企業に電話した際、「うちは危険な仕事をしているから、走り回る人は採用できない」と門前払いされた。こちらも、そういう子を就職させようとは思っていないが理解してもらえない企業がある。納付金が20万円くらいになり、障害者を採用したほうが良いと思うくらい思い切ったことをしないと、と思う。それでも雇用率が上がってメッセージが伝わってきたのか、問い合わせも徐々に増えてきている。しかしながら、市内の企業から問い合わせはない。

委員 C 愛知県内の企業数からしてみたら、特に稲沢市が低いというわけではないと思う。

部会長 商工会議所の会員で100人以上の企業はどれくらいか。

委員 C 直感で思ったのは200社以下。100社は超えていると思う。

部会長 企業イメージにつながるのだから社長であれば気になるかもしれない。

委員 C 大きい規模になると会社としてのイメージは大事にされるので、積極的に参加されるかなと思う。ただ皆さん、生きるか死ぬかで経営してみえる。

委員 D 見学に参加していただいた企業の中で採用していただいたのは12社。1社でも採用となれば学校としても大変ありがたい。100人以下の企業にも採用していただいた。今後も積極的に見学会をさせていただき繋がればと思う。

委員 E 学習会は賛成だが、その後の質疑応答がスムーズに行くかなと思うので、できればオンラインより実際に会ったほうが良いと思う。

事務局 オンライン学習会をやったときのアンケートでは実際に見たいという回答が多か

- った。また、昨年の部会の中で、オンライン学習会と現地見学会の二本立てで実施すると良いのでは、という意見があった。したがって、このような案を作成した。
- 委員 A 一宮市ではグループワークをやった。物流や製造といった同じ業種を同じグループにして企業同士が愚痴を言い合うなどして効果があった。以前、稲沢市のオンライン学習会で、企業への質問が多かったので、企業から話を聞きたいのだと分かった。
- 事務局 それは、オンライン学習会をやってからグループワークという流れか。それとも、それぞれ別の日の開催か。
- 委員 A 日頃やり取りのある就労移行支援事業所と関わりのある企業2社に出していただき、どう支援していたかを見て、その後にグループワークをした。同じ日に開催した。質問はチャットで入れてもらい質疑応答のところで答える。
- 事務局 オンラインでも皆さん、満足されていたか。
- 委員 A 支援機関同士や、企業のかたと顔見知りで、グループに1人ファシリテーターとして力量のあるかたが入って展開していく。6グループで30近い企業が参加した。最初にアンケートをして何を聞きたいかを収集しておいて、それに答える形式。
- 部会長 年齢層は若いかな。
- 委員 A コロナ禍で Teams や Zoom などを使うことが増えて、使い慣れてきたと思う。ちなみに、その後、見学会をしてほしいといった声があった。支援機関を見たい、訓練している人たちを見たいという意見が結構あった。
- 部会長 それは A 型事業所であっても良いかな。
- 委員 A その時は A 型事業所が入っておらず、B 型事業所が1か所。IT 関連のところであるため一般就労も支援している。稲沢市は就労移行支援事業所が1か所。
- 部会長 今までの見学会・学習会の参加企業が意外と多いが、実際は雇用に至るまでの企業は、あまり増えていない。企業に雇用する意識を向上させる方法はないかということで、オンライン学習に参加していただき、企業同士がグループワークすることで、意欲が高まって、その次の見学会で有効になる。今回もやったほうが良い。意見を言い合える場所も持てるという案内チラシを作る。
- 事務局 北津島病院のかたよりも、トータルサポーターが良いか。制度や助成に関してもお話は可能かな。
- 委員 B あまり制度については詳しくないが、障害の特性や雇用管理のところは強い。なお、トータルサポーターの講座はハローワークで半年に1回やっている。そこに参加する企業に行って直接内容を話すこともする。できるかどうかは確認しないと何とも言えない。
- 委員 A 地区は関係ないかな。
- 委員 B ない。各ハローワークに配属された看護師、保健師、臨床心理士などが担っている。
- 事務局 精神疾患については関係する部分をお話していただくことで進めさせていただく。

- 部会長 見学会については、昨年度は開放期間を設けて興味のある企業にきていただけるようにした。日にちを指定すると難しい企業の方も一週間のうちで、この時間ならよいというスタンスで対応した。
- 事務局 開放期間を設けたわりに数字だけを見るとあまり増えていないが、まだコロナの影響もあったと思われる。受け入れる企業の理解があつてのことだと思っている。
- 部会長 受け入れ企業としてはうちと、小出会長の協力をお願いするということで大丈夫だと思うが、昨年と同じ内容で終わるようでは少し寂しい。アイデアがあれば募りたい。
- 委員D 学校は火曜日か木曜日の作業学習をピンポイントで見てもらいたい。どうしても会社の都合で参加が難しい場合は個別に見学していただいても良い。
- 部会長 A型事業所の見学はどうか。
- 事務局 A型事業所については、市内の事業所に別途声かけをして日付を決めていく。
- 委員A 見に行くのは一宮市のA型事業所でも良いか。
- 部会長 可能であれば市内の事業所が良い。企業にお知らせする方法は何かあるか。
- 委員C 会報にチラシを挟む。役立つと思う人に声をかけたい。言われたから行かなければならないという頼み方はしたくない。
- 部会長 ただのイベントになってしまうと有効性がない。声かけすれば参加してくれそうな目途はあるか。
- 委員A 稲沢市はA型事業所が4カ所しかないが、一宮市はたくさんある。一般就労への送り出しを考えると訓練内容も一般企業を見ないと追いつかない。
- 部会長 先週、市内A型事業所に訪問し、勉強になった。我が社の教育資料を置いてきた。安全衛生面など、最初に新入社員に知ってほしいことを送り、メールのやり取りをしている。初めて行ったが、しっかりしていると感じた。時間になったら休憩して、時間の前に自席に戻る。A型事業所が企業に興味があるという話であれば、そのための活動をしたい。積極的に対応したい。活動(案)②についてどうか。
- 事務局 受け入れ企業の敷地内に場所を御用意いただいて、当日福祉事業所がブースを出し見学者や受入れ企業のかたに障害のあるかたが働いているところをPRできたらと考えている。
- 部会長 会社の決裁もいるので、どういう規模にしたいかまとめた企画書を作ってほしい。商工会議所の会報誌で情報発信のスペースをいただく作業はどうか。
- 事務局 スケジュールを確認の上、検討させていただきたい。内容としては福祉課よりハローワークのほうが情報量が多いと思うので、調整しながら検討したい。
- 部会長 活動(案)④についてはどういった研修会になるか。
- 委員A 障害特性が様々で仕事出来る人もそうでない人もいて支援者としてどう対応したらいいか、一般就労を希望する人が少ないのでどうモチベーションを上げていくか、という支援の方法を就労系事業所に対し支援する研修になる。講師は、名古

屋市総合リハビリテーションセンターで就労支援をしているかた。

事務局 昨年度、一宮市と稲沢市へ研修案内があったが、日程等の理由で行けない事業所もあったため、稲沢市内で実施するのであれば事業所も参加しやすいと意見があり、市役所内で会場を用意して実施してはどうかと考えている。

部会長 1年間のスケジュールの中にたくさんの内容だがどうか。

事務局 事業所向けの研修会は年に数回、他にも開催しており、その一環とさせていただくことができる。愛知障害者職業センターの照山氏に御協力いただけるのであれば、内容は別途調整が必要かと思うが、この方針で調整していきたい。

部会長 (案)として出ている内容で具体的に検討して欲しい。

部会長 活動(案)⑤について、今年は福祉まつりが10/28(土)に開催され、そこにスペースを設けるということ。企業として私と小出会長に打診して参加を依頼すれば良いのでは。時間は決まっているか。

事務局 午前10時から午後3時まで。場所は勤労福祉会館と総合体育館。

部会長 今日の内容を事務局でまとめて、具体的にいつまでに用意が必要ということがあれば、調整してほしい。

事務局 大きな方針は(案)どおりとして、今日の意見を反映させながらすすめたい。

3 その他

部会長 ハローワークからいただいた資料の案内をお願いしたい。

委員 B 一宮市の就労支援部会で2か月に1回、講師をして勉強会をしている。5月の第1回目の資料をお配りした。

部会長 皆さん、参考にしていただければと思う。

委員 E 月に2人か3人くらいは企業へ送り出している。職種でいうと物流系・軽作業系がかなり多いが、就労移行として悩んでいることは、企業からは障害者というと障害者手帳を持っているものと思うが、就労移行に通っているかたの中には診断書で通われているかたもいる。いざ実習して就職となった時に手帳がないとなると法定雇用率にカウントされないので企業がためられることがあること。

部会長 企業はそれを知った際にはどのような対応をするか。

委員 E 過去には実習で評価がよかったが、採用されなかったことがあった。